

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和7年8月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	2	2	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1
	繊維工業	0	2	1	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2
	木材・木製品	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	印刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄鋼・金属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一般機器	0	0	3	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	0	3	0	2	1	0	1	2	0	1	2	0	0	3
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	輸送機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	その他																											
小計		3	7	10	1	16	3	8	12	0	0	19	1	2	10	8	0	18	2	1	13	6	0	15	5	0	11	9
非製造業	卸売業	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	小売業	2	3	1	1	5	0	3	3	0	0	5	1	0	5	1	0	4	2				0	6	0	0	4	2
	商店街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	0	1	0	0	1
	サービス業	0	2	2				0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	3	1
	建設業	0	3	1				1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1
	運輸業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	その他	1	1	0				0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
小計		4	12	4	1	8	0	7	13	0	0	17	3	1	15	4	0	16	4				0	18	2	0	15	5
合計		7	19	14	2	24	3	15	25	0	0	36	4	3	25	12	0	34	6	1	13	6	0	33	7	0	26	14

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和6年8月～令和7年8月)

三重県中小企業団体中央会

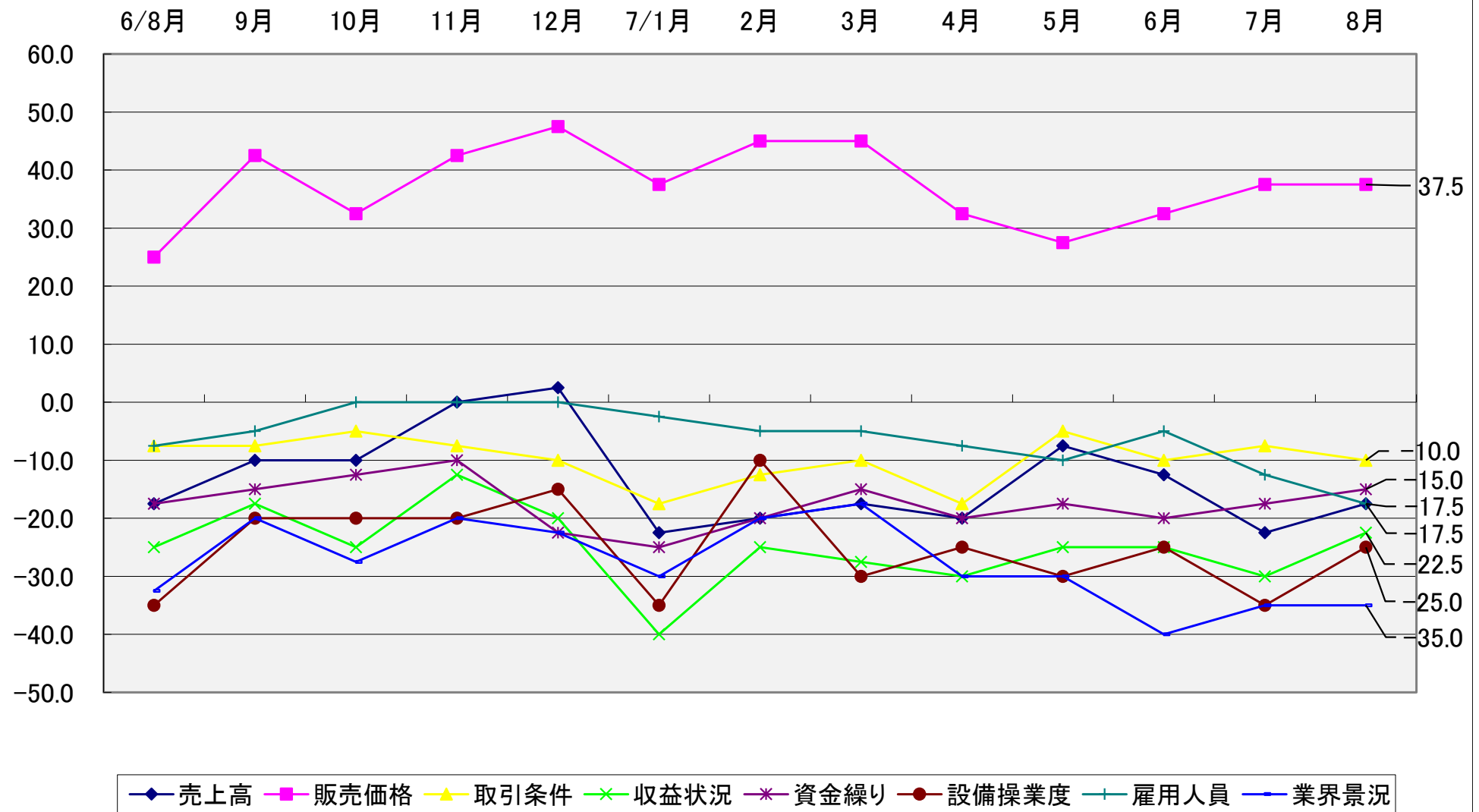
連絡員総数 40 名

	6/8月	9月	10月	11月	12月	7/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-17.5	-10.0	-10.0	0.0	2.5	-22.5	-20.0	-17.5	-20.0	-7.5	-12.5	-22.5	-17.5	5.0
販売価格	25.0	42.5	32.5	42.5	47.5	37.5	45.0	45.0	32.5	27.5	32.5	37.5	37.5	0.0
取引条件	-7.5	-7.5	-5.0	-7.5	-10.0	-17.5	-12.5	-10.0	-17.5	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-2.5
収益状況	-25.0	-17.5	-25.0	-12.5	-20.0	-40.0	-25.0	-27.5	-30.0	-25.0	-25.0	-30.0	-22.5	7.5
資金繰り	-17.5	-15.0	-12.5	-10.0	-22.5	-25.0	-20.0	-15.0	-20.0	-17.5	-20.0	-17.5	-15.0	2.5
設備操業度	-35.0	-20.0	-20.0	-20.0	-15.0	-35.0	-10.0	-30.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-25.0	10.0
雇用人員	-7.5	-5.0	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-5.0	-7.5	-10.0	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0
業界景況	-32.5	-20.0	-27.5	-20.0	-22.5	-30.0	-20.0	-17.5	-30.0	-30.0	-40.0	-35.0	-35.0	0.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がり、経営を圧迫する状態が続いている。今年はコメの価格高騰の影響により、コメの消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。一方で高温乾燥の影響により、夏野菜の生育に影響が出ており、原料不足が心配されている。大阪の食品流通業者から海外での漬物原材料の需要について問い合わせがあり、数名の会員より意見を伺い、現状について報告した。特に中国の有機栽培農場では日本への加工原料野菜の輸出についての関心が高い。
		醤油味噌	今夏も異常な高温が続き、降雨も少なく、水不足など例年以上に異常な天候が続いているため農作物への影響が各所に出ている。夏物商品は5～6月は売れ行きが悪かったが、7月以降は飲料などはもとよりエアコン、日傘など暑さ対策商品の売れ行きが好調である。鳥羽志摩方面へは夏休みの観光客は増えているが、ホテル関係は人手不足で苦勞がみられる。全体的に生産は低調に推移した。
		他に分類されない食料品 製造業	猛暑が9月に入っても続いている。工場内、配送とも体調管理に一層の注意を払わなくてはならない。空調服も取り入れた。タブレットで塩分補給も進めている。最低賃金上げ、パートの社会保険加入で社会保険料が倍増している。社会保険料の負担減を強く望む。
		製麺	今月は地域特産めん協議会を開催した。総会のときに伊勢うどんの地域ブランドについて小林弁理士に話を伺い、報告を受けて今後について話し合いを行った。参加しなかった組合員に議事録を送り、次回の会議参加率の向上を目指していくこととなり、次回9月26日には10名の参加申し込みがあった。伊勢うどんについては、課題を一つずつ解決できるよう取り組んでいく。
	繊維工業	衣料縫製	この夏の猛暑により秋物の生産が少なく、暖冬の可能性もあり、冬物の生産も積極的でなく仕事量が減っている。外国人技能実習生も中国に関しては高齢化が進み、40歳～50歳代になってきた。
		テントシート	熱中症対策が義務化されたことによるのか、遮熱シートの類が例年に比べると多く使用されているように感じる。
	木材・木製品	木材	建設コストの高騰等により住宅建設が減少しており、国産材製品の荷動きは依然として低調で人件費や配送料等のコスト高騰等もあり、厳しい経営環境が続いている。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題となっている。従業員の確保も困難である。
	紙・紙加工品	古紙	8月の仕入れ量は：段ボール・約90±3%位、新聞、チラシ・約92±4%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±3%位と思われる。円ドル為替レートが160円台から140円台となり約10%前後の大きな経営環境の変化で更にアメリカ合衆国の公定歩合引き下げとなりそうである。現在の中小企業の経営環境は厳しく10月の最低賃金の上昇は、いずれ消費活動へ結びつくと思われるがヨーロッパの戦争も終わりなき戦いの様相で体温以上の猛暑の中でも物価は高騰して家計にも重い負担であり、製紙業界の製品原紙値上げの努力も現在行われている様である。段ボール原紙生産メーカーによると猛暑で好調な産業と痛手を受けた産業があり全体として数パーセントマイナスだった。そのために製紙会社からの製紙原料古紙の発注も前年マイナスで秋需の予想も難しいが同業者も含め古紙の在庫は殆んど無く古紙の集荷も一部の業者を除いて少ない。残暑の中でも古紙や古着の持ち去りやゴミの置き去り行為等は発生し続け、選挙でも景気は回復せずに持ち去り古紙対策立法化もどうなるか不透明である。
	印刷	印刷	8月11日に組合後援事業である、津支部主催のたて干し大会を開催し、今年も多くの組合員、その家族で賑わった。ただし、財政上の理由から次回の開催については、3年後となる2028年開催とすることに決まった。8月に新政みえ、9月には自由民主党三重県連との間で、毎年開催している国・県の政策・予算に関しての要望書を提出予定となっている。物価・賃金上昇が続く中、行政発注についても、適切な価格転嫁が出来るようお願いする。また県内事業者保護、最低制限価格の見直し、SR調達、著作権問題解決をお願いしてきた。
	窯業・土石製品	伊賀焼	この時期の陶器の売れ行きは良くないが、各事業所は仕事がなくて困っているわけではない。これから暑い日が続く季節になると商品の売れ行きが変化することもある。これからの課題の一つになりそうだ。
	鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、堅調な状況である。中心は自動車関係であり、EV関連の受注を軸に今後も安定した需要が見込まれる。
	一般機器	四日市市	米国との関税に関する状況が一旦落ち着いたことによるのか、8月は先月に比較すると引き合いは多かったように思える。まだ、受注につながるところまでは進んでいない。今後の受注量が増加することを期待したい。同業他社の状況はあまり変わらず停滞気味ではあるが、半導体関係、自動車関係の部品製造が動き出したとの情報をよく聞くようになった。
		津市	夏季休暇もあり、8月の売上は毎年低調であるが、昨年に比べても受注量は低い。今年は異常な暑さが続いており、熱中症対策を講じているが、倉庫については空調を入れることができないので、各自の水分補給や空調服でしか対処しようがなく、体調が悪くならないように適宜休憩を設けているが、その分作業効率が落ちている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
電気機器	伊勢市	状況に大きな変化は無く、悪い状態が継続している。収益状況は少し改善してきたかと思えるが、これは販売価格を引き上げたためである。工作機械の状況も自動車関連も相変わらず悪い。今後は最低賃金のアップに伴う人件費の上昇をどうやってカバーしていくか難しい課題がある。
	鳥羽市	お盆の月でもあり、酷暑もあり、受注状況も低速した中で午後の休憩時間を15分間にし、熱中症予防を兼ねてゆっくり事業を進めた。受注内容は80%くらいで推移している。
	伊勢市	受注件数は一般機械器具では増加、物量改善により、採算面は前年比好転している。ただし、8月は稼働日が少なく利益計上は難しい。自動車部品は昨年比同程度だが、今後の見通しは依然不明である。□
小売業	青果	（野菜前半）高温の影響で入荷が安定せず、北海道・愛知・岐阜産のトマト、長野・北海道産のキュウリなどの入荷が少なく、高値で推移している。長野・群馬産のキャベツは安定した入荷で価格も安定している。北海道産ジャガイモは小玉傾向だが価格はお買い得である。（野菜後半）トマト、ミニトマト、キュウリは北海道産が中心で入荷が少なく高値が続いている。北海道産タマネギは水不足や高温の影響を受け、高めの価格で推移している。群馬・長野産キャベツは安定入荷で安い。長野産エノキ、シメジなどキノコ類はお買い得である。（果物前半）お盆に向けて入荷が増えてきたが、全体的に高値で推移している。静岡・愛知産アールスメロンは贈答用で引き合いが強く、また、味の良いタカミメロンは青森産に加え北海道産の入荷が始まった。モモは山梨・長野産の入荷が少なく値上がりしている。ハウスみかんも色づきが悪く高値である。ナンは地場産が中心だが、今年は高温と雨が少なかったため生育が悪くお盆前の贈答用が高い。スイカは長野産中心で高値が続く。（果物後半）モモは長野産の太玉が多くなり甘くて価格もお盆前に比べお買い得になっている。デラウェアは山形産がしっかり甘味がありお買い得であり、もう終盤となった。イチジクは愛知産が最盛期に近づいて安くなっている。山梨産のシャインマスカットが手の届く値段になってきた。
	自転車	史上最高の更新を続ける株式市場は危うい傾向でもある中、長引く物価高で個人消費は伸び悩み、全体的に国内消費がこれ以上減退すれば今後ボディーブローのように効いてくると思われる。先月に引き続き、猛暑、学校の夏休み、企業の長期盆休みも重なり、我々の業界は自転車の修理も少なく、商品の買い換え等は全く無い状態が続いている。ここに来て、またしても8月22日（ブリヂストンサイクル発表）公開のBSCホームページ上では、9月1日注文分よりメーカー希望小売価格の改定版が発表された。それによると自転車及び電動アシスト自転車が約1～6%の値上げとなり、各ショップは販売の際にメーカーへの問合わせが必要となっている。
	電器	今までにない猛暑が続く中、我々の業界では売上の柱であるエアコンの売れ行きは伸び悩んでいる。本来なら猛暑が続くとメーカーの在庫切れや納期の遅れなど起きるが、今年は潤沢に入荷している。販売台数も去年と比べるとやや減少気味にある。三重県の省エネキャンペーンで上級機種に関しては順調という話も聞く。また体力や健康面で考えると熱中症などしっかり対策は出来ていると思うが、体調を崩した話も聞くので猛暑も少し落ち着いてほしいところである。
	石油	ガソリン暫定税率廃止に関する研修会が三重県議会で開かれ、全石連（東京）の坂井信常務理事が税の仕組みや、野党が共同提出した廃止法案などについての説明会が開催された。地方財政にも大きな影響を及ぼすこの問題への理解を深めようと、自民党三重県連が三重県石油商業組合に講師派遣を依頼し、開催された。参加者は県議、市議、自治体職員ら約40名が出席した。説明会では、ガソリン税には揮発油税と地方揮発油税があり、暫定税率の上乗せ分は合わせて年間約1兆円に上がると説明し、「このうち地方財源となっている地方揮発油税の上乗せ分は325億円であり、廃止された場合は、地方財政に大きな穴が開く、野党の法案では、国に全額補填を求めている」と補足した。11月から暫定税率を段階的に引き下げる案などが出ているが、詳細は未定である。
	スポーツ	8月度は東海全日本中学生大会のソフトボール、剣道大会が開催された。当組合は委託販売にてTシャツやタオル等を販売した。例年に比べ競技が少なく売上金額が伸びなかった。
商店街	熊野市	この地方最大の集客数を誇る「熊野大花火大会」も予定通り無事開催された。今年は日曜日ということでそれなりの集客を期待していたが、主催者発表で12万人に留まった。同日開催された商店街内の物産展では多くの来場者がみられ、各店から報告を受けた売り上げ報告では全体で昨年とほぼ同じ金額の売り上げがあった。来年は平日開催となり、集客数の減少が見込まれる。全国的にも花火大会の運営費の高騰や協賛金の減少など課題も多く、熊野花火も将来的には追善と観光花火を切り離した開催日変更案も視野に今後の展望を考える時期なのかと思われる。
サービス業	旅館	昨年の夏は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表、台風10号の影響で例年同月比50%くらいに落ち込んだ。今年は台風の襲来もなく、天候には恵まれていたのに全体的には昨年と同じ、例年の50%程度であった。その原因として、まず、今年は猛暑であり、熱中症対策として出歩かずにクーラーの効いた家で過ごすようにといった報道もあって、海水浴場も閑散としており、海も山も人出は少なかった。別の原因として、大阪万博に引っ張られたことも大きな要因である。ファミリー客はもとより、ツアー、団体客もキャンセルが多く出ていた。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	警備	今年の盆前は天候不順で大きなイベントが中止となり、その分8月の売上が減少した。今年は猛暑が続き稼働日は数が少なく、その分の売上も減少となった。
建設業	総合工事業	令和7年7月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて34%の増加となった。内訳でみると、県と市町でいずれも増加によるものである。4月から7月までの対前年度比は35%増加となっている。
	内装工事業	8月はお盆休みもあり対前年同月比はマイナスとなった。現状、物価高による原材料価格の高騰等により建設関係の受注が鈍いため、業界の景況は非常に厳しい。
	水道工事業（亀山市）	亀山市からの委託業務について、量水器の取替えは月の計画通りの個数の取替えを行っている。漏水修理についても、月に20件程度の修理を行っている。受注高については、本年度の予定通りである。民間工事については、まだまだ材料価格が高騰しており、厳しい状況が続いている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
一般機器	四日市市	賃金、手取りのアップを進める政策を推進するようですが、中小企業においてはなかなか賃金アップを進めるのは難しい状況が続いています。手取り額の向上をすすめるのであればぜひ社会保険料の減額をお願いしたいです。
繊維工業	衣料縫製	減税を希望する。最低賃金の上昇をそろそろ止めてほしい。
建設業	総合工事業	人手不足の状況や資材の確保は依然として困難な状況は前年度より若干厳しい。そのため労務賃金、資材価格の上昇も前年度から引き続き改善されない状況である。
建設業	電気工事	女性部設立にあたり、何かとご指導宜しく願いいたします。
サービス業	旅館	需要喚起策と金融支援策を速やかに実施することを強く要望する。